

市内私有林整備・地域材の利用促進・市民への普及啓発に向けた
森林環境譲与税に関する使途状況（令和3年度見込）

資料6

| 事業区分 | 事業名 | 事業総額（千円） | | | | 事業内容 | 備考 |
|----------------|------------------|----------|------------------|----------------|---------------|---|----|
| | | (A)+(B) | (A)うち森林環境譲与税（千円） | (B)うち基金取崩額（千円） | (C)うち他の財源（千円） | | |
| 意向調査 | 林業振興事業 | 1,089 | 1,089 | 0 | 0 | 森林経営管理法に基づく森林所有者を対象とした意向調査 | |
| 私有林整備 | 林業振興事業 | 25,821 | 25,821 | 0 | 0 | ①森林環境保全整備事業に係る上乗せ助成 ②市内の私有林における間伐の実施 ③間伐材の需要先への運搬経費への助成 | |
| 私有林整備 | 林業振興事業 | 8,750 | 8,750 | 0 | 0 | 市内林業事業体における高性能林業機械導入への支援 | |
| その他（森林整備） | 林業振興事業 | 21 | 21 | 0 | 0 | 森林整備に活用するドローンの維持経費（保険料） | |
| 担い手確保 | 林業振興事業 | 50 | 50 | 0 | 0 | 「北海道林業・木材産業人材育成支援協議会」への賛助金 | |
| 林道・林専道の整備等 | 林道管理事業 | 5,383 | 5,383 | 0 | 0 | 森林整備に資する林道の維持管理委託 | |
| その他（木材・普及啓発関係） | 地域材利用拡大・森林整備推進事業 | 2,458 | 2,458 | 0 | 0 | ①釧路森林資源活用円卓会議開催経費 ②地域材を活用した木製品開発業務委託 ③普及啓発用冊子等作成 ④木育教室開催消耗品 | |
| 基金積立 | 森林環境整備基金積立金 | 17,784 | 17,769 | 0 | 15 | 次年度以降の森林整備・地域材利活用に向けた積立金（15千円は預金利息） | |
| | 計 | 61,356 | 61,341 | 0 | 15 | | |

公共建築物等における木材の利用の 促進に関する法律の一部を改正する法律 概要

- 戦後植林された国内の森林資源は本格的な利用期。
- 木材の利用は、森林循環（造林→伐採→木材利用→再造林）を通じて、森林のCO₂吸収作用を強化し、脱炭素社会の実現に貢献。
- 公共建築物等木材利用促進法の制定から10年が経過。
耐震性能や防耐火性能等の技術革新や、建築基準の合理化により、木材利用の可能性も拡大。

民間建築物を含む建築物一般で木材利用を促進する法改正が必要

1 題名・総則の改正

(1) 題名・目的の改正 (題名、第1条)

- 題名を「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に改正
- 本法の目的に「脱炭素社会の実現に資すること」を追加

(2) 基本理念の新設 (新第3条)

- 木材利用の促進に関する基本理念を新設

(3) 林業・木材産業の事業者の努力 (新第6条第2項)

- 林業・木材産業の事業者は建築用木材等の適切かつ安定的な供給に努める旨を規定

(4) 木材利用促進の日・月間 (新第9条)

- 木材利用促進の日 (10月8日)、木材利用促進月間 (10月) を制定

2 建築物における木材の利用の促進に関する施策の拡充等

(1) 基本方針等の対象の拡大 (新第10条～第12条)

- 基本方針・都道府県方針・市町村方針の対象を公共建築物から建築物一般に拡大

(2) 木造建築物の設計・施工に係る先進的技術の普及の促進等 (新第13条)

- 木造建築物の設計・施工に係る先進的技術の普及の促進、人材の育成、建築用木材・木造建築物の安全性に関する情報提供等

(3) 建築物木材利用促進協定 (新第15条)

- 国・地方公共団体と事業者等による建築物における木材利用促進のための協定制度を創設
- 国・地方公共団体による協定を締結した事業者等への必要な支援

(4) 強度等に優れた建築用木材の製造技術の開発・普及の促進等 (新第16条)

- 強度・耐火性に優れた建築用木材の製造技術及び製造コスト低廉化技術の開発・普及の促進等

(5) 表彰 (新第31条)

- 国・地方公共団体による表彰

3 木材利用促進本部の設置 (新第25条～第30条)

- 木材利用促進本部を農林水産省に設置
(本部長：農林水産大臣、本部員：総務大臣・文部科学大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣等)
- 基本方針の策定、木材利用の促進に関する施策の実施の推進等

施行期日：令和3年10月1日 (附則第1条) ⇒北海道の方針(R4.3改訂)を参考に釧路市の方針を今後改訂予定

令和4年度事業イベント等実施スケジュール

| 月日 | 取組内容 | 場所 | ※備考 | |
|-----|------|---------------------|-------------------|--------------------------------|
| 4月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | 木木ひろば(木づなショーケース等展示) | 釧路市こども遊学館 | |
| 5月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 6月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | MOO展示ショーケースリニューアル | 釧路フィッシャーマンズワーフMOO | |
| | 下旬 | | | |
| 7月 | 上旬 | 円卓会議総会 | 釧路工業技術センター | |
| | 中旬 | 道新就活・転職フェア | | 主催:道新 共同出展:担い手協議会ほか |
| | 下旬 | 川上部会研修会 | 阿寒町市有林 | |
| 8月 | 上旬 | 商品企画研究会(第1回) | 釧路工業技術センター | 年3回程度予定 |
| | 中旬 | 釧路合同企業説明会 | 釧路プリンスホテル | 主催:釧路市地域雇用創造協議会 共同出展:担い手協議会 |
| | 下旬 | | | |
| 9月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | イベント出展 | 山花温泉リフレ | リフレ秋の収穫祭 |
| | 下旬 | | | |
| 10月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | くしろ安心住まいフェア | 釧路市こども遊学館 | 主催:釧路総合振興局 |
| 11月 | 上旬 | 木育・森づくりフェア | イオンモール釧路昭和 | 主催:釧路町村会等 |
| | 中旬 | 道民森づくりの集い | 札幌市 | 主催:北海道・北海道森林管理局 |
| | 下旬 | | | |
| 12月 | 上旬 | 木育教室(釧路こども遊学館・大人向け) | 釧路市こども遊学館 | |
| | 中旬 | じもと×しごと発見フェア | 釧路市観光国際交流センター | 主催:北海道 共同出展:担い手協議会 |
| | 下旬 | | | |
| 1月 | 上旬 | 木育教室(釧路こども遊学館・親子向け) | 釧路市こども遊学館 | |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | モクコレ2023 | 東京ビッグサイト | 主催:東京都 |
| 2月 | 上旬 | メイドインくしろ | 釧路市観光国際交流センター | 主催:釧路地域工業振興協会 |
| | 中旬 | | | |
| | 下旬 | | | |
| 3月 | 上旬 | | | |
| | 中旬 | 新規高等学校卒業予定者等企業説明会 | 釧路市観光国際交流センター | 主催:教育局等 共同出展:担い手協議会 |
| | 下旬 | | | |

※時期・内容は現段階の計画であり、今後変更になる可能性もあります。

**森林環境譲与税を財源とした釧路市における
林業・木材産業の課題解決に向けた取組に係る予算措置状況（令和4年度）**

| 事業区分 | 事業名 | 事業総額（千円） | | | | 事業内容 | 備考 |
|----------------|------------------|----------|------------------------|----------------|---------------|---|----|
| | | (A)+(B) | (A)うち令和4年度の森林環境譲与税（千円） | (B)うち基金取崩額（千円） | (C)うち他の財源（千円） | | |
| 私有林整備 | 林業振興事業 | 44,100 | 44,100 | 0 | 0 | 私有林における間伐等の森林整備・作業道整備に対する補助 ①森林環境保全整備事業等実施に係る上乗せ助成 ②市単独の森林整備助成 ③森林作業道補修への助成 | |
| 林道・林専道の整備等 | 林道管理事業 | 15,554 | 15,554 | 0 | 0 | 森林整備の促進に必要な既設林道等を委託により巡視し、状況把握を行い、路網の維持改善を図る。 | |
| その他（森林整備） | 林業振興事業 | 382 | 382 | 0 | 0 | ①林業関係職員のスキルアップに向け北海道などが行う研修への参加 ②森林整備に活用するドローンの維持経費（保険料） | |
| 担い手確保 | 林業振興事業 | 50 | 50 | 0 | 0 | 道内の多くの市町村が参加し「北海道北の森づくり専門学院」における地域実習等の支援を行う「北海道林業・木材産業人材育成協議会」へ賛助金を拠出し、林業・木材産業の担い手の確保を支援する。 | |
| 林業就業者の育成 | 林業振興事業 | 26,900 | 8,834 | 18,066 | 0 | 林業事業体及び林業就業者の育成に関する補助 ①高性能林業機械等の導入に対する助成 ②林業就業者又は林業事業体用の作業用具の購入に対する助成 ③林業就業者の研修に対する助成 | |
| その他（木材・普及啓発関係） | 地域材利用拡大・森林整備推進事業 | 10,955 | 10,955 | 0 | 0 | ①公共施設用地域材製品の製作購入 ②地域材製品開発業務の委託 ③木製品展示会への参加 ④木育教室の開催 ⑤普及啓発用パンフレットの作成 ⑥林業・木材産業関係者の研修会開催等 | |
| | 合計 | 97,941 | 79,875 | 18,066 | 0 | | |

①最近のウッドショックやウクライナ情勢の悪化に伴い、報道や市況調査等により木材価格も高騰していると言われている情勢の中で、影響を受けている状況がありましたら、情報提供をお願いします。

・民間建築工事において、施主が資材価格高騰を理解はしているが、工事予算と見積金額との差異が生じております。しかしながら、工事受注状況、売上高を考慮しつつ、契約をするかどうかを判断しております。また、民間の大型物件に関しましては、計画から実施までに時間を要しますので、その間に物価が高騰し最終調整が難しくなっております。

・ウッドショック
 突板用のBase基材のラワン合板がひっ迫し、2年前くらいと比較すると倍近くの価格になり、また、納入も大きくリレーしている状況です。それに伴い、合板以外の繊維板なども代用品となってしまい、木質基材はすべてに影響しています。国産針葉樹も高騰続けていますが、突板基材としては品質が劣るのでそのまま代用できない状況です。
 ラワン合板に限ってはラワン原木等の入荷が遅れているのと他メーカー様(輸入品)の供給も細ってしまっているため注文が集中し、全国への供給が遅れています。当社の全国シェアが70%前後を持っているので、このままではラワン合板に限らず、木質系からの他基材への転換が怖い為、早急な供給体制増強を作業し、恋問工場内に新ラインを立ち上げて対応している状況です。
 また、ラワン代替えとして道産広葉樹の使用割合を増やしたいのですが、根本的に材不足とラワンと比較すると歩留が悪化するので中々抜本的対策にはならない状況です。

・ウクライナ情勢
 当社は国内および中国からの表層基材を準備し在庫もあるので、すぐに影響はない状況ですが、直接ロシア基材を購入しているメーカー様が今後生産に影響してくる可能性があるため、更に当社に発注が偏ると供給量に不安が残ります。また、当社としましてはどちらかと言うと中国ロックダウンによる影響の方が大きいです。

・輸入材状況
 東南アジアではこれまで雨による原木不足の影響も大きかったのですがやや回復傾向です。
 しかしながら、現地価格高騰と円安により、大幅な価格アップの為、購入引取先が少なく、国内の港には入れず、船の滞留が始まってきているとの情報があります。

・木材価格の高騰関連では現状特に影響はありませんが、原油価格の高騰が運材費用に影響してくることを懸念しております。

・今年度からスタートするくしろ木造畜舎推進プロジェクトの関係で管内の各農協を訪問した際、「畜舎新築や建て替えの意向はあるものの、木材のみならず畜舎建築に必要な各種資材が高騰していることに加え、飼料や燃料も値上がりしており、今後もこのような状況が続けば、畜舎の新築・更新が滞る可能性がある」との話が複数の農協から寄せられた。

②今後の木づなプロジェクトの活動について、取り組んだ方が良い事項がありましたらお知らせ願います。

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・北海道産原木の移出が増加傾向の為、道内で原木不足が発生している。「地域材」を「地域内利用」「域外拡販」するための仕組みづくり啓蒙活動を検討してはどうか。<ul style="list-style-type: none">・域内で使用する最低限の原木を域内にとどめる施策・付加価値を高めて、域外から稼ぐ取組 |
| <p>・他地域では姉妹都市関係を紐づけに基材を移動の上、加工したり、逆に姉妹都市宛に供給する話もちらほら聞きます。</p> <p>首都圏から西日本については活発に物件が動いているように見受けられるので、地元基材のストーリーを持って案内できる体制が出来ればと思います。</p> <p>現状行っている商品開発も継続しつつ、地域循環と他地域への売り込み作業を強化するべきかと考えます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">・事業の省力化、効率化につながる“スマート林業”に関連した研修を実施していただきたい。例としては、「丸太検収ソフト」「電子輪尺」「ForestScanner（森林総研開発アプリ）」などの実機を使った研修などを希望します。 |
| <ul style="list-style-type: none">・公共施設の木造化は、地域材活用を推進する上で有効な取組のひとつだが、各市町村役場の建築設計担当部署では、市町村有林を始めとする地域材の活用に思い至らず、林務担当部局との連携が十分行われていない事例も多いと聞く。 <p>また、木造公共施設建築の際に利用できる補助事業（特に林野庁以外の他省庁所管の補助事業等）に関する情報が不足していることも考えられる。</p> <p>これらを踏まえ、地域材を活用した木造公共施設建築の事例を有する市町村担当者（建築設計及び林務）を講師に、構想・設計段階からの準備（スケジュール感や活用可能な補助事業、地域材を活用する際に必要な事前準備）等に関する担当者レベルの勉強会を開催しては如何か。</p> |